



校長室より



令和6年6月11日

No.8

自分らしく生きる 豊かに生きる

一学部(入院生)の子どもたちに ほんもの体験が次々に！

6月7日(金)、県立自然博物館による「移動博物館」が今年も来てくれました。和歌山病院の敷地にあるはまかぜ教室に、魚の入った水槽や動物の剥製、化石がたくさん展示されました。いたちやきつねの毛並みを触ったり、ずっしりとしたアンモナイトの化石の重みを感じたり、ナマコやイソギンチャクなど得体の知れない物体をおそろおそろ触って手を引っ込めたりしていました。入院生活をしている子どもたちにとっては、めったに触れあうことができない貴重な体験となりました。



6月11日(火)、今年度初めて煙樹ヶ浜へ森林浴に出かけました。今回は入院生の三分の二の子どもたちが野外活動を楽しむことができました。スタート地点となる学校玄関前では多くの人に迎えられ、一緒に「はじまりの歌」を歌って出発しました。松林の遊歩道を進み、折り返し地点では記念撮影もしました。鳥の声をたくさん聞き、海からの風を受け、おいしい空気をたくさん吸って元気に帰ってきました。ゴールの玄関前では、みんなで「風になる」や「おかえりのうた」を歌いました。



6月11日(火)の午後から、本校体育館で「お出かけ音楽会」が開催されました。ピアノの小川友子さん、ソプラノ歌手の矢倉愛さん、瑞樹比美香さんが来校され、クラシック曲やオペラ曲、最後にジブリメロデーを披露していただきました。心に響くきれいな歌声に元気をいただきました。子どもたちも声を出したり、体を揺らしたり、目をパチパチさせたり、ピクッと反応したり、全身で音楽を感じていましたね。

